

INTEGRATED REPORTING <IR>

IIRC ニュースレター：カンファレンス 2016 特別号



ガバナンスとレポーティング の国際的組織が、 ロングターミズムへの 世界的なシフトに向けて、 ビジネスリーダーを招集

IIRC (International Integrated Reporting Council) と ICGN (International Corporate Governance Network) のパートナーシップによる国際的なカンファレンスが初めて開催され、ビジネス、投資、基準設定におけるリーダーが本日、ロンドンで一堂に会す。2日間のカンファレンスには、30を超える市場から400人以上が集まり、大手資本の国際的なビジネスリーダーやグローバルな投資家が、長期的な価値の創出につながるコーポレートガバナンスとレポーティングについて連携されたシステムを求めていることを象徴するものになった。

IIRC と ICGN の
カンファレンスでの
声明を読む：

IIRC CEO
Richard Howitt,

そして

ICGN Executive
Director Kerrie
Waring 氏

IIRC の新刊書籍をお
見逃しなく。

Creating Value:
the cyclical power
of integrated
thinking and
reporting

(仮訳：価値創造：
統合思考と統合報告
の、循環性の力)



夕食後の基調講演にて E.L Rothschild CEO の Lady Lynn Forester de Rothschild 氏、Coalition for Inclusive Capitalism の共同創立者かつ Chairman であり、IIRC Board Chair である Barry Melancon と IIRC Council Chair の Mervyn King 教授。

ICGN と IIRC は、包括的なレポートを通じた透明性の向上は、企業のレジリエントの強化につながるという共通の信条に基づき、このカンファレンスを共同で開催する。ICGN の Executive Director である Kerrie Waring 氏は、「ICGN は、長きに渡って、過去の実績を背景説明に盛り込みながら、長期的な成長ドライバーを考慮するレポートの必要性を提唱してきた。こうしたレポートにより、広範なステークホルダーが企業のリスク、機会、将来に向けたビジョンを理解できるようになる。情報に基づく投資の意志決定は、株主が取締役会の実効的なスチュワードとして行動できるようにするために必須である。これは、ICGN の旗艦文書であり、世界的に模範とされている Global Stewardship Principles において強調されている。」と述べた。

この見解は、IIRC の CEO である Richard Howitt により共有された。彼は、「価値創出のためのより広範なアプローチをもち長期的発展をしようとする資本市場では、パフォーマンスが向上する。多様性に富んだ国際的な連合である IIRC は、これを現実のものとするため、力を注いでいる。統合報告は、企業と投資家がより質の高い対話を行うために重要な手段となる。私の描くゴールは、統合報告が、21 世紀のコーポレートガバナンスの基準点となり、企業と投資家が共に長期的な価値創造できるものとなることだ。」と述べた。

「統合報告事例
データベース」
において、
新たなレポートが
閲覧可能。

ICGN は、26 兆米ドルを超える資産の管理を任されている投資家が率いる国際的なメンバーシップであり、IIRC は規制当局、投資家、企業、基準設定主体、会計専門家および NGO により構成される国際的な連合組織である。カンファレンスで発言を行ったメンバーやネットワークに含まれる組織は、投資家の観点からは、Newton Asset Management、CalSTRS、Schroders、Florida State Board of Administration および BlackRock、ビジネスの観点からは、Itaú Unibanco (ブラジル)、Interserve (イギリス)、SAP (ドイツ)、エーザイ (日本)、Tata Steel (インド) および Microsoft (アメリカ) を含む。

世界銀行の元 CFO である Bertrand Badré 氏は、カンファレンスにて「世界的な金融危機の余波への奮闘が続く中、市場の経済システムに対する信頼を取り戻すために変化を起こし、貢献することのできる手段や活動に焦点を当てることは依然として極めて重要である。適切なコーポレートガバナンスと統合報告は、この達成を後押しするものになれる。」と述べた。

Financial Reporting Council の Chairman である Win Bischoff 氏は、「価値観、行動と良いガバナンス体制は、組織が目標を達成する手段として中心的なものとなる。こうした特性をビジネスモデルに織り込むことで、自社の事業全体の成功に貢献するだけでなく、全てのステークホルダーが信頼できる環境を作ることに繋がる。こうした方法で私達は、全員で持続的な成長を創造することができる。この ICGN と IIRC のカンファレンスは、長期的な価値創造に向けた実現戦略を考慮するにあたって、理想的な機会となる。」と述べた。

カンファレンスのスポンサー に感謝の意を表します!



共同声明： ICGN と IIRC は、 長期的な価値創造のため、 対話を求める

IIRC と ICGN は、価値創造をもたらすコーポレートガバナンスとレポーティングの連携されたシステムを求めている。共同声明では、資本市場の参加者による長期的な思考と行動を促す実践的な方法を提示した。

それは以下を含む：

- ・将来的な価値創造に沿った戦略、パフォーマンス、ガバナンス、ビジョンを持つ長期的な注目。
- ・積極的に価値創造のすべての側面に興味を持つスチュワードとしての投資家。
- ・投資家の企業理解の深化と、より良い投資判断の助けとなる透明性と情報開示を促進する 21 世紀のガバナンスの重要な柱としてのレポーティング。

IIRC と ICGN は、共に資本市場の参加者間の対話を促進し、持続的なビジネスと投資を生み出す長期的思考への移行を後押ししている。これは、ICGN のポリシーテーマにおいて「長期的投資の優先と持続的な価値創造を促進させる」、IIRC が主張する「短期的資本市場から持続的資本市場」へのシフトとして表現されている。

ますます多くの投資家が長期的な価値創造のサポートし影響を与える持続的な利益の恩恵を受けるため、積極的に企業と対話を行っている。そうした投資家による対話への需要は、「国際統合報告フレームワーク」を活用して統合レポートを作成している世界中の 1,000 を超える企業により応じられている。ICGN のポリシーフレームワークは、昨今の複雑な経済、社会、環境景観において、長期的な成功は、財務諸表に直接的に反映されない要因に依存していることから、統合報告およびより広義の統合思考の重要性を認識している。

情報は資本市場の血液であり、事業戦略、価値創造、資産、リスクと機会について可能な限り全面的に描写するものであるべき

だ。投資家のスチュワードシップの向上との相互作用により、資本配分の改善、財務安定性と持続的発展という、より広範な公共の利益目標の実現がもたらされる。

Mervyn King 教授、 ICGN Lifetime Achiever Award の授与に伴って 最新書籍を発表

IIRC Council の Chairman である Mervyn King 教授は、最新書籍 ‘The Chief Value Officer: Accountants can save the planet’ (仮訳: Chief Value Officer: 会計士は地球を救うことができる) をリリースした。Jill Atkins 氏と共にこの本を書いた Mervyn King 教授は、本を通して、組織の統合的な価値創造に向けたマネジメントの阻害要因となっている体系的な課題に挑戦している。

彼は、「現在、多くの企業に好まれている株主中心主義のガバナンスモデルは、持続的に価値を創出する企業行動へと変化させるものではない」と述べている。それ故に、この本では「会計士はチェンジメーカーとして堅く位置付け」し、「今日の財務の専門家は、財務の担当役員以上に価値創出の担当役員となるべきであり、Chief Financial Officer は、Chief Value Officer として知られるべきである。」と主張している。本の中では、このアプローチが説明され、統合報告を採用すべき重要な理由が要約されている。

カンファレンスの中で、King 教授は、ICGN より Lifetime Achiever Award を受賞した。ICGN による表彰の候補者は、ICGN Awards Committee に推薦状を送る ICGN メンバーにより選ばれた人である。

ICGN の Chair である Erik Breen 氏は、「Mervyn King は、真のスチュワードシップへの無条件のコミットメントを主張し、現実の経済についての総論的な見方を示している。彼は、キャリアにおいて、卓越されたリーダーシップを発揮し、一貫して、少数よりも多数の前進のために自分の影響力を利用してきた。」

ロンドンにて、 IIRC Council 会議を開催

今週、ロンドンにて ICAEW の主催により IIRC Council 会議が行われた。会議で IIRC Council のメンバーは、統合報告とコーポレートガバナンス、スチュワードシップとの間の関連性の認識を行った。IIRC Council は、IIRC チームに、統合思考と統合報告の潜在的な役割は、21 世紀のコーポレートガバナンスを下支えする「情報アーキテクチャ」となることであるとアドバイスした。これは特に、世界中で企業がコーポレートガバナンスとスチュワードシップ・コードに適応していく中で具現化し、長期投資と価値創造に対して新たに注目を集めるものとなる。

2017 年は、IIRC にとって、戦略の飛躍的發展のフェーズ（2014 - 2017）から新たな国際的適応のフェーズ（2018 以降）へ移行を果たす重要な年となる。国際的適応のフェーズへ移行する重要な年である。国際的適応へ向けた戦略の発展については、直近の 18 ヶ月間、IIRC Council により情報提供されてきた。国際的適応フェーズの重要な柱は、「統合報告が 21 世紀のコーポレートガバナンスにおける原則として受け入れられるよう、明らかな変化をもたらす」ことである。IIRC Council の議論では、この原則がより広く受け入れられるため、実務における意味と主要要素と特徴の特定に焦点を当てた。

IIRC Council は、IIRC による最初のステークホルダーのフィードバック調査の結果についてコメントすることも求められた。

2016 年 5 月 25 日～6 月 24 日の間、調査に対して 535 の有効な回答があった。重要な調査結果として、「国際統合報告フレームワーク」の質と市場ニーズへの適応が評価されていることが明らかになった。また、統合報告が、コーポレートレポーティングを包括し支援する強みをもつものとして認識され、コーポレートレポーティングに対してより連携された効果的なアプローチを促すものと捉えられていることも確認された。

IIRC チームは、IIRC Council と共に、2013 年 12 月の「国際統合報告フレームワーク」開示以降、二度目となるアニュアルレポート発行のサイクルに対するレビューの概要を共有した。包括的な分析を行うため、無作為に 50 のレポートが選出され、フレームワークの要求事項に対する適用がいくつかのレポートにおいて

審査された。IIRC Council から受領した統合レポートのレビューとフィードバックは、2017 年の前半において、様々なステークホルダーとのエンゲージメントとフィードバックを含み、フレームワーク導入後のレビューにおいて重要なインプットとなる。

IIRC Board、国際統合報告フレームワークパネル、コーポレートレポーティングダイアログおよび「統合報告ビジネスネットワーク」も同様に、IIRC にとって重要なこの一週間にロンドンで会議を行う。

新たな支持表明が 会計士の役割の重要性を 高める

会計の専門家は、統合報告の発展と適用の推進にあたって、先導役を果たしてきた。Global Accounting Alliance は、統合報告に対して支援を行う声明を発表することで、この支持を大いに後押しした。その声明には、以下が記述されている。

会計の専門家は、国際経済において重要な役割を果たす。会計が提供する透明性、説明責任、財務マネジメントは、より良く機能した経済、資本の流れ、更なる繁栄につながる。会計担当は、組織が短・中・長期において、どのように持続的な価値を創造するか理解するために、独特な視野を持っている。

組織とステークホルダーが共に長期的視野に焦点を当てることが重要な中で、多くのステークホルダーは、短期的な視野でしか見ていない。私達は、ステークホルダーが、「統合報告」により、長期的価値を作っているものは何かを理解できるようになると信じている。「統合報告」は、組織の成功に寄与する全ての資産と関係性を考慮し、ビジネスモデル、リスクと機会および組織の将来の存続可能性に焦点を当てる。また、「統合報告」は、透明性の向上、より包括的なコーポレートレポーティングを意味し、より効率的な世界経済をもたらすはずだ。

以下に記載のある 10 の先進的な専門的会計組織の連合である Global Accounting Alliance の Director である我々は、「統

合報告」の導入に向けてサポートを提供する。我々は、企業や専門的会計士が透明性を向上させ、長期的な思考と行動に注目するようシフトしていくため、「統合報告」を取り入れるべきだと信じており、これにより更に良い判断や資本分配につながるだろう。The Global Accounting Alliance は、財務安定性と持続的成長という、より広範なゴールに向けて資本配分と企業行動を適用させる IIRC のビジョンを支援する。これは、高い専門的基準と倫理を通して、社会的信頼を高める専門家の役割と幅広い社会的目標との間の重要な関連性を象徴する。

統合報告は、価値創造ドライバーの特定と、洞察と専門的なスキルを使った価値の向上を通して、世界中の会計の専門家が雇用主や組織に対して発揮する価値を高める重要な機会を提供している。投資家や財務資本の提供者との対話を促進し、社会的な信用を向上させることから、これを通し彼らは、コーポレートレポートの変革において、中心的な役割を果たすことができる。純粋な財務情報を超え、組織の価値創造のために影響を与える広範な領域に渡る要素に対する理解の深化を通して、会計士は組織とその継続的な成功を確実にする判断のために重要な情報を活用することで、リーダーシップを発揮する立場にある。

GAA (Global Accounting Alliance) は、10 の重要な資本市場における専門的な会計機関により構成される団体である。統合報告のコンセプトを発展させ、実証し、堅固性を確かなものとするため、IIRC は近年、GAA と個々の構成組織と密接に協働してきた。これらの組織は、IIRC の業務に対して、重要な支援とガイダンスを提供しつづけている。

この声明は、[オンライン上で閲覧可能である](#)。

新たな調査により、 利益を越えた目的が 重視されることが 明らかとなる

カンファレンスで開示された CIMA、AICPA、Black Sun と IIRC による[リサーチ結果](#)では、ステークホルダーとの関係構築

や統合思考と、戦略的な判断を向上するために、価値創造における組織のポテンシャルを理解し、発信することの重要性が増していることに対して、世界的に企業の幹部が合意していると結論付けた。

世界の 400 以上の上級役員を対象に行った調査では、以下の結果が示された。

- ・79% が、戦略策定における長期的視点は、価値創造のポテンシャルを高めるものだと考える。
- ・93% が、コーポレートレポーティングは、価値創造ストーリーを把握するにあたって重要だと考える。
- ・83% が、「統合報告」の採用は、自組織に成功をもたらすにあたって役に立つと考える。
- ・79% が、投資家は未来に関する視点を必要としていると考える。

しかし、その調査はまた、企業の幹部にとって、自社の将来的な成長ドライバーを理解し、説明するのに必要なマネジメントやレポーティングの情報が不足していることを示している。「国際統合報告フレームワーク」は、これらの情報を得るにあたって主要な手段となり、1,000 社以上が自社の価値創造ストーリーを発信するために活用している。

‘2016 Value of Value: Board-Level Insights’ は、ビジネスリーダーが自社の価値創造ストーリーを伝える最善の方法についてどのように考えているかを調べるために定期的に実施される国際的な調査である。

ACCA と IIRC は、 統合報告ビジネスネットワーク の参加者によるレポートに 対して洞察を行った

カンファレンスの間、ACCA と IIRC は、「統合報告フレームワーク」の適用をサポートするものになるとして、統合報告ビジネスネットワークの参加組織によるレポートについてのレビューのサマリーを提供した。このレポートは、現在の進捗と改善のための機

会を理解するため、投資家と「統合報告」の専門家によりレビューされた。

41の統合報告ビジネスネットワークの参加組織によるレポートを対象にしたレビューの主要な調査結果は、企業が、レポートニングにおける前進を支援する手段として統合報告を活用していることを示している。

統合報告ビジネスネットワークの参加組織の多くが、統合報告とレポートニングにおける変革に関して、先進的な立場にあり、その他の組織についてもレポートニングの質の向上に向けて継続的に取り組んでいることがプロジェクト全体の結論となった。個別の強みは、戦略、ステークホルダーとの関係性、価値創造についてのレポートニングを含む。

レポート以外では以下のようにレビューされた。

- ・66%が、自組織がどのように自社と自社以外のために価値を創出しているかを説明した。
- ・88%が、純粋な財務資本以外で依存する資本について情報提供をした。
- ・71%が、成功のための戦略に対して行った深い洞察を共有した。

ACCAは、これらの主要な結果を2017年により広範なソートリーダーシップペーパーへの情報提供に使用する予定である。



Website



Twitter



LinkedIn



YouTube

Contact: juliet.markham@theiirc.org

Copyright © 2016 International Integrated Reporting Council, All rights reserved.
[unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)